

運営ニュース

令和5年1月号



モフリン

リチウムイオン電池の捨て方を
正しく知ろう

携帯電話・スマートフォンやノートパソコン、充電式家電などのバッテリーとして、今や欠かせないものになったリチウムイオン電池。実はルールを守って捨てないと火災につながり大変危険です。リチウムイオン電池ってどんなものかを解説しながら正しい分別方法についてもご紹介させていただきます。



可燃ごみ焼却施設運転情報



焼却量と発電量

	1号炉(t)	2号炉(t)	合計	発電電力量(MWh)
令和4年10月	1654.87	1351.04	3005.91	1421.62
令和4年11月	2127.91	2145.50	4273.41	2020.59
令和4年12月	2039.56	2039.99	4079.55	2033.32

ばい煙濃度

採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定濃度			
			ばいじん濃度(g/m³N)	窒素酸化物濃度(ppm)	塩化水素濃度(ppm)	硫黄酸化物濃度(ppm)
組合管理値			0.01	50	30	20
1号炉排ガス	令和4年12月2日	令和4年12月9日	<0.001	33	15	3
2号炉排ガス	令和4年12月2日	令和4年12月9日	<0.001	35	8	3

ご来場の際は、マスク着用・検温へのご協力をお願いいたします。

イベントなどのお知らせ

モノ・コトショップ

ご家庭で不要になったけれど、まだまだきれいで活躍しそうなモノをお持ちいただき、必要な方々に譲る不要品交換のお店を開催しています。※詳細、開催日はホームページをご確認ください。

わくわく省エネルギー教室

開催日時 令和5年2月25日(土)

- ①午前の部 10:00~12:00
- ②午後の部 13:00~15:00

予約受付 令和5年2月1日(水)~24日(金) 16:00まで

募集人数 ①②共に5組(25名程度)

※小学生以下は保護者同伴

定員になり次第締め切りとさせていただきますのでお早めにお申し込みください。

(株)くわなEサービス 0594-87-5133まで。

同時開催 モノ・コトショップ 10:00~15:00

施設見学ツアー

月曜日から金曜日の9:30~16:00

1回90分程度で見学コースを周ります。

お1人から見学できますので電話でお気軽にお問合せください。



リチウムイオン電池が原因による
ボヤ騒ぎが発生しています!!!!



令和4年度、当施設から5件（令和4年12月末現在）のボヤ騒ぎが発生し、その原因はリチウムイオン電池によるものと考えられています。

リサイクルプラザで発生した2件は、不燃ごみの中に混ざっていたリチウムイオン電池が衝撃を受け発熱、発火しました。また、可燃ごみ焼却施設で発生した2件は、ごみピット内でごみ袋が発火し、周囲の可燃ごみに延焼し、炎があがりました。リチウムイオン電池が原因と考えています。さらに、もう1件は搬出した鉄シュレッダー屑（不燃・粗大ごみ処理後に分別された鉄分）を運搬中に荷台で出火、消防による消火活動後に原因を調査したところ焼け焦げたモバイルバッテリー、リチウムイオン電池が見つかりました。

いずれも大事に至る前に消火することができましたが、大きな災害になりかねない事象でした。



リチウムイオン電池の特徴は？

リチウムイオン電池は正極と負極を持ちその間をリチウムイオンが移動することで、充電や放電を行う二次電池です。二次電池は充電することで繰り返し使える電池のことです。たくさんの容量を蓄えることができ携帯電話・スマートフォンやパソコンのバッテリー、産業用ロボットや充電式小型家電など幅広く使われています。

一方で、使い方を誤ると発熱や発火がおきることがあります。電池の中の構造を破壊するような衝撃（電池を落とす、何かが突き刺さる、形状が変わるほど押しつぶすなど）が加わることで、正極と負極がつながる（短絡）と、瞬間的に大きな電流が流れるとともに激しい熱も発生します。激しい発熱は同時に発火・爆発につながる危険性があります。

リチウムイオン電池はどんな製品に使われているの？



令和4年12月の1ヶ月間で当施設には、リチウムイオン電池及びリチウムイオン電池内臓小型家電が、収集されてきた不燃ごみに380kg混入されていました。ごみとして出す前にもう一度を確認してください。正しく使い、きちんと分別して捨てれば、リサイクルが可能となり、環境にも優しくなります。

皆様にはご協力いただきますようお願いいたします。



リチウムイオン電池及び小型家電の捨て方は
市町によってルールが違います。

桑名市

担当窓口：桑名市環境対策課 0594-24-1436

- リチウムイオン電池本体 ⇒ 収集不可 リサイクル協力店の店頭回収をご利用ください。
- 小型家電28品目(※1参照) ⇒ 縦15cm横25センチのものまでならそのまま回収BOX投入口へ。(市役所1階北玄関、地区市民センター(大山田、多度、長島)、清掃センターに回収BOXがあります。)

※1 桑名市小型家電28品目

ICレコーダー	ケーブル類 (コード類)	電子体温計	ヘアドライヤー
イヤホン	ゲーム機器	電子タバコ	フィルムカメラ
ACアダプタ	外付けハードディスク	電卓	ヘッドフォン
カーオーディオ全般	デジタルカメラ	電動歯ブラシ	補聴器
携帯音楽プレーヤー	電気カミソリ	時計	ポータブルカーナビ
携帯電話	電子血圧計	ビデオカメラ	モバイルバッテリー
携帯ラジオ	電子辞書	ヘアアイロン	USBメモリ

上記以外 ⇒ 不燃ごみ（指定袋に入らないものは「粗大ごみ」）バッテリーを取り外して出してください。

木曾岬町

担当窓口：木曾岬町住民課 0567-68-6103

- リチウムイオン電池本体、モバイルバッテリー ⇒ 収集不可
購入先・専門業者に処分依頼してください。
- 小型家電 ⇒ 資源ごみ。バッテリー、リチウムイオン電池を取り外して出してください。
取り外せないものは担当窓口に相談が必要です

東員町

担当窓口：東員町みらい環境課 0594-86-2807

- リチウムイオン電池本体、モバイルバッテリー ⇒ 収集不可
購入先・専門業者に処分依頼してください。
- リサイクルマークが貼付された小型家電は、バッテリー内臓のまま資源ごみストックヤードに出すことができます。

リサイクルの森にお持ち込みの場合

担当窓口:0594-87-5133

- リチウムイオン電池本体、モバイルバッテリーは、持ち込みをお断りします。
- 小型家電は、バッテリー（乾電池、リチウムイオン電池を含む）を取り外してお持ち込みください。取り外しのできないものは持ち込みをお断りします。